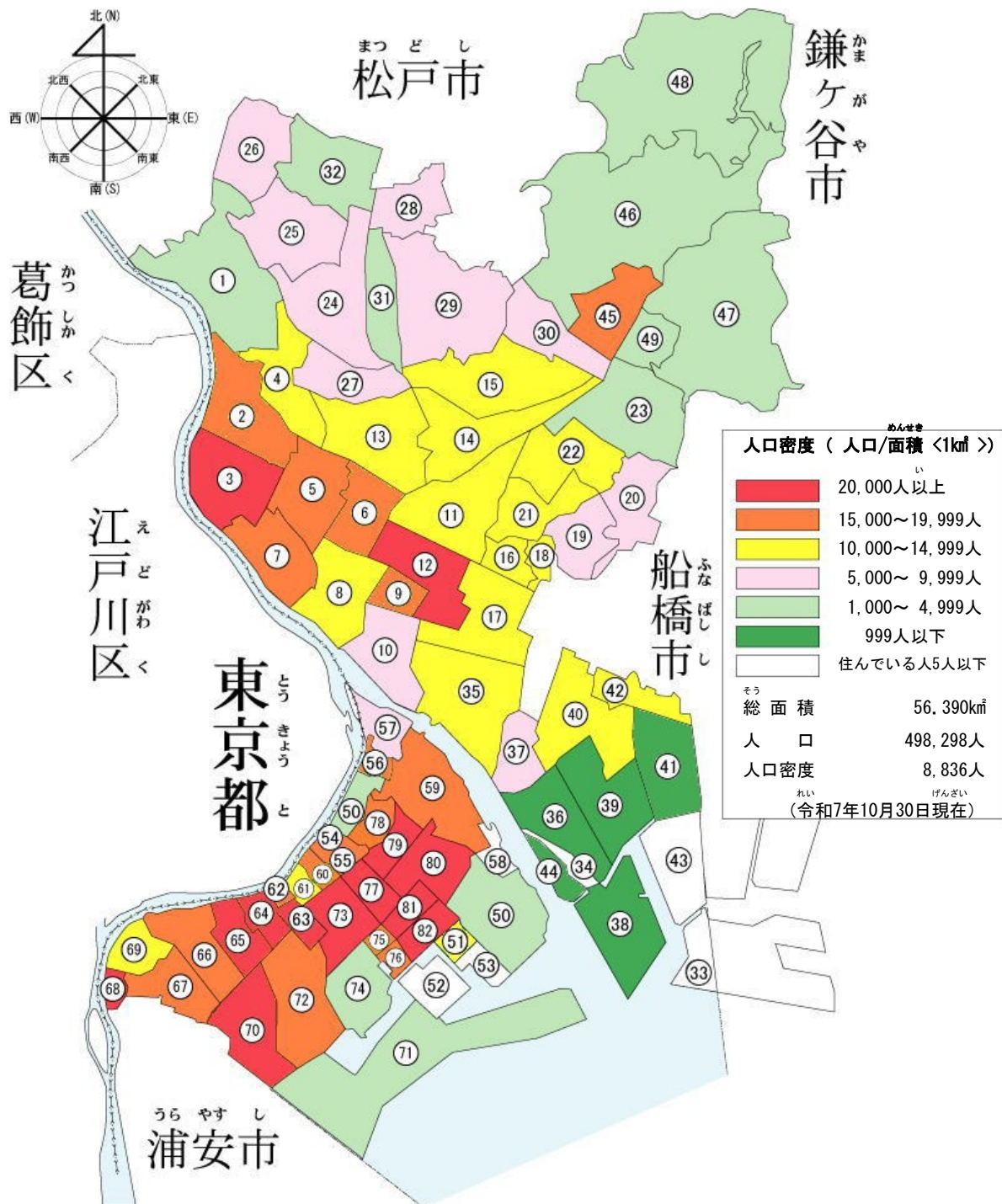


【資料の広場】

◆市川市の町名と人口密度

町 名	町 名	町 名	町 名
①国府台 こく の だい いち いち	②中市川 いち かわ みなみ	③市川南 ま ま	④真間 しん でん
⑤新田 ひら た	⑥平田 おお す	⑦大洲 おお わ	⑧大和田 ひがし おお わ
⑨東大和 とう だ ぎ	⑩稲荷木 や わた	⑪八幡 みなみ や	⑫南八幡 すが の
⑬菅野 ひがし の	⑭東菅野 みや く	⑮宮久保 おに ごえ	⑯鬼越 おに たか
⑰鬼高 たか いし	⑱高石 なか	⑲中山 わか みや	⑳若宮 きた かた
㉑北方 もと きた	㉒本北方 ぼつ け まち	㉓北方町4丁目	
㉔国分 こく ぶん	㉕中国分 なか こく ぶん	㉖北国分 きた こく ぶん	㉗須和田 す わ だ
㉘稲越 いな ごし	㉙曾谷 そ や	㉚下貝塚 しも かい づか	㉛東国分 ほり の うち
㉜堀之内 ひがしはま	㉝東浜1丁目 た じり	㉞田尻 た じり	㉟田尻1～5丁目 こく や
㊱高谷 こう や	㊲高谷1～3丁目 こう や しん	㊳高谷新町 ばら き	㊴原木 ばら き
㊵原木1～4丁目 ふた また	㊶二俣 ふたまた	㊷二俣1～2丁目 ふた また しん	㊸二俣新町 かみ みょう でん
㊹上妙典 みなみ おお	㊺南大野 おお の まち	㊻大野町 おお の まち	
㊼柏井町 かしわ い まち	㊽大町 おお まち	㊾奉免町 ほん ぎょう とく	㊿本行徳 か とう しん でん
㊽加藤新田 か とう しん ち	㊾千鳥町 ち どり ちょう	㊿高浜島 たか はま しま	㊽関ヶ島 い せ じゆく
㊾伊勢宿 しも しん しゆく	㊿下新宿 か 新 わら	㊽河原 しも みょう でん	㊾下妙典 みょう でん
㊿妙典 おし きり	㊽押切 おし 切り	㊾湊 みなと しん	㊿湊新田 みなと しん でん
㊽湊新田1～2丁目 かん どり	㊾香取 かけ ま	㊿欠真間 あい の かわ	㊽相之川 あら い
㊿新井 しん じり	㊽島尻 しま じり	㊿広尾 ひろ お	
㊽南行徳 みなみ ぎょう とく	㊿塩浜 しお ふく えい	㊽福栄 ふく まえ	㊿行徳駅 ぎょう とく えき
㊽新浜 にい はま	㊿入船 いり ふね	㊽入船 ひ で	㊿日出 すえ ひろ
㊽末広 ほん しお	㊿本塩 とみ はま	㊽富浜 しお やき	㊿塩焼 焼
㊽宝 たから	㊿幸 さいわい		

あなたの住んでいる地いきのようすはどうですか？
ほかの地いきとくらべてみましょう。



◆市川市のうつりかわり

時代	明治時代				
年	一九〇七 (明四〇)	一九〇五 (明三八)	一八九五 (明二八)	一八八五 (明一八)	一八七五 (明八)
主なできごと	市川町・八幡町・行徳町・中山村・五常村(国分村)・大柏村・南行徳村が誕生した。(明治二三) 国府台に軍たいがおかれた(明治一九)				
人々のくらし	市川に発電所ができて、真間と国府台で電とうがはじめてついた。 このころから、市川の中心が行徳から鉄道のまわりにかわってきた。 南行徳でのりを作りはじめた。 国分てぶどう作りがはじまつた。 八幡で梨作りがさかんに行われていた。 行徳で塩作りが行われていた。 中山が法華経寺の門前町としてさかえていた。 このころ、さかえていたのは行徳のあたりだった。				
学校	信篤小ができた。(明治二九) 中山小ができた。(明治一六) 中山小のもとになる学校ができた。(明治九) 信篤小のもとになる学校ができた。(明治八) 市川小ができた。(明治七) 大柏小・国分小・南行徳小・行徳小・八幡小ができた。(明治六)				
そのほか(交通)	京成電鉄がはじめて、江戸川と真間の間をとり、京成国府台駅と真間駅ができた。(明治四三) 鎌ヶ谷と行徳の間に人車鉄道がおった。(明治四〇) 江戸川橋(木の橋)ができた。(明治三八) 下総中山駅ができた。(明治二八) 市川と佐倉の間に、はじめて鉄道がしかれ市川駅ができた。(明治二七) 東京と成田の間に乗合馬車がおった。(明治一六) 蒸気船が江戸川をとった。(明治一〇)				
人口(人)					

大正時代		昭和時代	
一九一五 (大四)	大つなみで行徳・南行徳が 大きなひがいをうけた。 (大正六)	一九四五 (昭二〇)	戦争がおわった。 (昭和二〇)
一九二五 (大一一四)	江戸川放水路ができた。 (大正八)	一九三五 (昭一〇)	太平洋戦争がはじまった。 台風で真間川がはんらんし た。(昭和一六)
一九二五 (大一一四)	関東大しんさいがおきた。 (大正一一二)	市川町・八幡町・中山町・ 国分村がいつしよになつて 市川市となった。 県内三番目(昭和九)	戦争によって家がやかれたり、 こわされたりした人たちが東京 からうつり住むようになった。 (昭和二二)
一九二五 (大一一四)	市川にはじめて水道がひかれ た。	行徳の塩作りがなくなった。	市川・真間・中山・八幡・国分・南行徳の 各小学校で学校給食を開 始した。 (昭和二三)
一九二五 (大一一四)	このころ地しんで、ひがいをう けた人たちが東京からうつり住 むようになった。	昭和学院ができた。(昭和一五)	一中・二中・三中・四中・第 五中のもとになる学校・第七 中のもとになる学校が新制 中学としてできた。 (昭和二二)
一九二五 (大一一四)	国府台女子学院ができた。 (大正一五)	真間小・日出学園ができた。 (昭和九)	国電本八幡駅と京成鬼越駅が できた。(昭和一〇)
一九二五 (大一一四)	人車鉄道がなくなった。(大正六)	国電が両国と市川・船橋の間を とおった。(昭和八)	京成バスがはじめて国府台と 船橋の間をとおった。(昭和三)
一九二五 (大一一四)	京成菅野駅、京成八幡駅、京 成中山駅ができた。(大正四)	京成バスがはじめて国府台と 船橋の間をとおった。(昭和三)	京成バスがはじめて国府台と 船橋の間をとおった。(昭和三)
一九二五 (大一一四)	一八八八 (大正九)	四〇〇〇 (昭和九)	五八〇〇 (昭和一五)
一九二五 (大一一四)	一〇〇〇〇 (昭和二四)	八五〇〇 (昭和二一)	一〇〇〇〇 (昭和二四)

時代	しょうわ昭和時代				
年	一九七五 (昭五〇) 一九六五 (昭四〇) 一九五五 (昭三〇)				
主なできごと	しゅうまつしゅりじょう 終末処理場・市川考古博物館ができた。(昭和四七) アメリカのガーデナ市と姉妹都市となる。 (昭和三七) 行徳海岸のうめ立てがはじまった。(昭和三四) 台風で真間川があふれ真間や菅野がひがいをうけた。 (昭和三二) みなみぎょうじく 南行徳町が市川市といっしょになった。(昭和三一) ぎょうじく 行徳町が市川市といっしょになった。(昭和三〇)				
人々のくらし	しんてん このころ新田でいちご作りがさかんにおこなわれていた。 このころ国電の南がわの新田やおおす大洲に工場がたてられるようになった。 行徳のうめ立て地に大きな工場がたてられるようになった。 大野・大町で梨作りがさかんにおこなわれるようになった。 行徳にも住たくや大きなマンションがたつようになった。				
学校	新井小・南新浜小・大野小・東国分中ができた。(昭和五五) 柏井小・大洲小・幸小・下貝塚中・福栄中・高谷中ができた。(昭和五四) 富美浜小ができた。(昭和五三) 百合台小ができた。(昭和五二) 新浜小ができた。(昭和五〇) 北方小ができた。(昭和四九) 大町小ができた。(昭和四八) 中国分小・曾谷小ができた。(昭和四七) 二俣小ができた。(昭和四五) 宮久保小ができた。 (昭和四三) 鶴指小・第八中ができた。 (昭和四二) 第七中ができた。(昭和三七) 菅野小・第六中・市立ようご学校ができた。(昭和三二) 稲荷木小・鬼高小ができた。 (昭和三一) 平田小ができた。(昭和二八) 若宮小・国府台小ができた。 (昭和二七) 富貴島小ができた。(昭和二六)				
そのほか(交通)	むさしの 武蔵野線が開通し市川大野駅ができた。(昭和五二) わんがん 湾岸道路ができた。(昭和五三) そうぶ 総武線が複々線になり快速が走るようになった。(昭和四七) 地下鉄東西線が開通し、行徳駅ができた。(昭和四四)				
人口(人)	三四〇〇〇 (昭和五二) 二六〇〇〇 (昭和四五) 二〇〇〇〇 (昭和四〇) 一六〇〇〇 (昭和三五) 一四〇〇〇 (昭和三一) 一三〇〇〇 (昭和三〇)				

昭和時代		平成時代	
一九八五 (昭六〇)	市川市文化会館・動植物園 ができた。(昭和六〇)	二〇〇八 (平三〇)	東京外かく環状道路が開 通した。(平成三〇)
	市民プール・少年自然の 家・市川歴史博物館がで きた。(昭和五七)	二〇一一 (平二三)	東日本大しんさいがお きた。(平成二三)
	中国の樂山市と友好都市に なった。台風で須和田や ひがしくふん 東国分が大水のひがいを うけた。(昭和五六)	二〇一〇 (平二二)	市川駅南口地区の再開発が 完了した。(平成二二)
		二〇〇〇 (平一一)	ドイツのローゼンハイム市 とパートナーシティとなっ た。大洲防災公園ができ 市川市リハビリテーション 病院ができた。(平成一〇)
		一九九〇 (平二)	阪神・淡路大しんさいがお きた。(平成七)
			メディアパーク市川・市川 市クリーンセンターができ た。(平成六)
			インドネシアのメダン市と 姉妹都市になった。塩浜体 育館ができた。自然博物館 ができた。(平成元)
			妙典にも住たくやマンション ができてきた。
			南行徳にも住たくやマンション ができてきた。
			根本排水機場ができた。
			大野あたりに住たくやマンショ ンがふえはじめた。
			義務教育学校塩浜学園ができ た。(平成二八)
			須和田の丘支援学校稲越校舎 ができた。(平成二〇)
			第七中が新しくなり、保育・ 介護・公会堂施設がいつしよ にできた。(平成一六)
			妙典小ができた。(平成一一)
			京成電鉄が北総線開発鉄道経 由で成田空港につながった。 (平成二二)
			地下鉄東西線妙典駅ができ た。(平成一二)
			北総開発鉄道が開通し、北国 分駅・松飛台駅・大町駅がで きた。(平成三)
			京葉線が東京駅へ乗り入れる ようになった。(平成二)
			地下鉄新宿線本八幡駅ができ た。(平成元)
			京葉線が開通し、二俣新町・市 川塩浜駅ができた。(昭和六三)
			国鉄がJRとなった。 (昭和六二)
			地下鉄東西線南行徳駅ができ た。(昭和五六)
			四八〇〇〇 (平成二九)
			四七〇〇〇 (平成一九)
			四六〇〇〇 (平成一四)
			四四〇〇〇 (平成六)
			四一〇〇〇 (昭和六二)
			三七〇〇〇 (昭和五六)

時代	令和時代 ^{れいわ}		
年	二〇二〇 (令二)	二〇二二 (令三)	二〇二五 (令七)
主なできごと	東京オリンピック・パラリンピック二〇二〇が一年延期で実施された。(令三)		市川市で「国府サミット」が開催された。(令七)
人々のくらし			
学校	小中一貫型小学校・中学校 信篤三つ葉学園がスタートした。(令和四)		
その他(交通)			
人口(人)	四九〇〇〇〇 (令和二)		